



【2012-2013年度 RIテーマ】

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：仲田 廣志 副会長：大塚 博巳 幹事：池ノ谷 敏正 副幹事：森下 敏顯

第1981回



【紅葉】

写真提供：櫻井龍太君

■ソング 我等の生業

■ソング リーダー 平 和則君

■ 会 長 報 告

仲田 廣志君

皆さん、こんにちは。日中は暖かい日もありますが、夜半から早朝にかけては底冷えする日が続いています。1太陽年を日数によって24等分し、その分割点を含む日に季節を表す名称を付したものを二十四節気または二十四気というそうです。20日の日曜日はその二十四節気の一つで大寒でした。今年の大寒は暖かい日でしたが、暦の上では一年で一番寒い日とのことです。一昔前の話だと思いますが、大寒の朝の水は一年間腐らないとされており、容器に入れて納戸に保管する家庭が多かったそうです。また、寒い冬の月を寒月というそうです。冬の夜は研ぎ澄まされた空気が凜と張りつめており、月も鋭く光り最高の美しさを見せてくれるそうです。シベリア育ちの季節風が太平洋側に乾いた冷たい空気をもたらすため、1年で最も見通しの良い季節とのことです。寒い中ではありますが、散歩しながら澄み通った向こうに見える富士山や遠くの景色を眺めたり、月夜に凜としたお月様を眺めたり、闇夜には降り注ぐ満天の星空を仰いで至福の時を感じながら春を待ちたいと思います。

さて、今年の芥川賞に75歳の女性が、そして直木賞には23歳の青年が選ばれました。新人賞に75歳というのも驚きましたが、文章も横書きとのことで話題性もありますので早速購入して読んでみたいと思っています。しかしながらニュースも明るいものばかりでなく、アルジェリアの人質事件等悲しい胸の痛むニュースが多い昨今ですが、藤枝ロータリークラブの一員として皆さんと一緒に出来ることを前向きに取り組んでいきたいと思っておりますことをご報告させていただ

て会長報告とさせていただきます。

■ 幹 事 報 告

池ノ谷 敏正君

- 第2620地区より
213-14年度RI会長テーマが届いております。
- 公益財団法人米山記念奨学会より
米山功労クラブ感謝状が届いております。
- 公益財団法人米山記念奨学会より
ハイライトよねやまの154号が届いております。
- 藤枝市国際友好協会より
会報紙がとどいております。
- 藤枝市社会福祉協議会より
広報紙「ふじえだ社協だより」が届いております。

■ 出 席 報 告

中森 義次君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26 / 38 68.42%	31 / 39 79.48%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○青島克君 ○池ノ谷君 ○石割君 ○小泉君
○島村君 ○竹田君 大杉君 落合君
鈴木舜君 大長君 仲田晃君 山田君

(2)メイクアップ者

松葉 隆夫君(藤枝南)

■ ビ ジ タ ー

鈴木 徹君(藤枝南)

■ ス マ イ ル B O X

中森 義次君

- 息子に子供が生まれました。3人目も男でした。

うれしいです。先週のクラブ協議会休んですみ
ませんでした。 松葉 隆夫君

スマイル累計金額 144,730円

■ 外部卓話

フラワーデモン
ストレーション
佐藤 ちえ様



プロフィール

NFC 公認 日本フラワーコーディネーター協会公認

1998 静岡藤枝校 オフィスミルローズを開校

インターナショナル フローラルアート賞受賞

フランス、イタリア、オランダなど各国に渡欧

インターナショナルフローラルアート in ジャパン

静岡支部・藤枝支部長兼任として現在に至る

藤枝市にフラワーショップ&スクール

エレガンスフラワーミルローズをOPEN！

< 移転先 > 藤枝市駅前 2 丁目 17-14

TEL：054-647-2200

《活動内容》

- * 県下公民館数ヶ所にて、アレンジメント講師を務める
- * 近年では、「花による心のセラピー」により障害者をはじめ、患者の方々の心療内科のサポートケアに努め、その傍ら講演活動・出張レッスン指導
- * 花によるパフォーマンスを行う

お花には様々な出逢い、想いを伝えるメッセンジャーの力があります。また、リラックス効果があります。花と触れ合い、安らぎと優しさをお伝えできればと思います。



■ 3 分 間 ス ピ ー チ 江崎 晴城君

きょうは「中国」
についてお話しし
ようと思います。中学
の時の先生が中国に
熱心で、その影響で
中国語学部のある大



学に推薦で入学しました。その当時の同級生は重
宝がられていまでも各企業などで活躍しています。

尖閣問題をはじめ中国人は何を考えているかわ
からないと思っている方も多いと思います。なま
じ同じような顔つきで漢字など使っているもので
すから、どこか分かり合えるような錯覚に陥ること
が多く、中国に進出し企業も失敗してしまうケ
ースが多いようです。友人から聞いたドイツ人が
作ったジョークがあります。

ある富豪がいました。

もしも青いキリンを私に見せてくれたら、莫大な
賞金を出そう

それを聞いたそれぞれの国の人たちはこんな行動
をとりました。

ドイツ人は、そんな生物が本当にいるのかどうか
図書館に行って文献を調べました

アメリカ人は軍を出動させ世界中に派遣して探し
回りました

日本人は品種改良の研究を日夜問わず重ねて青い
キリンを作りました

中国人は青いペンキを買いに行った

したたかな国民だと警戒の目を向けているのは日
本だけではないようです。

中国人には十分気をつけましょう。